

2026年2月24日

各位

株式会社 北陸銀行

## 電力先物取引の取扱開始について

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行（頭取 中澤 宏）は、株式会社東京商品取引所（以下、TOCOM）より2026年2月24日付で電力先物の受託取引参加者資格の取得を承認されたのでお知らせいたします。また、同日付で、株式会社日本証券クリアリング機構（以下、JSCC）より、エネルギー先物等清算資格の取得を承認されています。

これにより北陸銀行は、資格取得予定日である2026年3月16日より、東京商品取引所の電力先物取引等について、お客さまのご注文を受託から清算まで一貫してお受けできるようになります。

なお、北陸銀行は東京商品取引所の受託取引参加者としては11社目、日本証券クリアリング機構のエネルギー先物等清算参加者としては12社目となり、今回の東京商品取引所における受託取引資格については、地域金融機関として初の取得となります。

### 記

#### 1. TOCOM および受託取引参加者資格の概要

TOCOMは、日本取引所グループ（JPX）の完全子会社として、エネルギーの先物取引に関する市場の開設・運営を担う商品取引所であり、電力先物のほか、原油・石油製品先物、LNG先物が上場しています。

受託取引参加者とは、TOCOMが開設する商品先物市場で、自己の計算による取引及び委託者の計算による取引を行うことができる取引参加者。受託取引参加者資格を取得することにより、電気事業者や需要家の注文を受託し、市場に取り次ぐ中核的な役割を担うことが可能となります。また、取引所で成立した取引は清算機関による中央清算を通じて決済履行が保証されるため、市場全体の信用リスク低減と安定的な市場運営を支える役割も担うこととなります。

#### 2. 電力先物市場の概要

電力の将来の受渡期間に対応した価格について、取引所取引を通じた売買の機会を提供するとともに、電力価格変動リスクを管理するためのヘッジ機能を提供する市場です。日本卸電力取引所（JEPX）のスポット市場価格を参照した現金決済型先物取引として、発電事業者、小売電気事業者、大口需要家、金融機関、海外投資家等が、価格見通しに基づく取引機会の活用や、調達価格や販売価格の安定化を目的として利用されています。現在は東京エリア、関西エリアに対応した商品を上場しており、2026年4月からは中部エリアに対応した商品も新規上場予定です。

電力価格変動リスクに対するヘッジニーズの高まり等により、2025年におけるTOCOMの電力先物の年間取引量は約4,583GWhと前年比約5倍となり、過去最高を更新しています。

### 3. 資格取得の目的

当行は、日本国内で商品先物取引業の免許を持つわずか 5 行のうちの 1 行であり、既に原油、銅、アルミニウムなどの非鉄金属をはじめとする各種商品の価格変動リスクに対応するため、ヘッジ手段をお客さまに提供し、企業の安定的な事業運営を支援しています。

今回の資格取得に伴う電力先物市場への参入により、これまでの商品先物取引業で培った豊富な知見と経験を活かし、国内市場の流動性向上と市場参加者の拡大を通じて、電力価格の安定化に寄与し、エネルギー分野におけるリスクマネジメントの選択肢を拡充いたします。

また、地方銀行として地域経済の発展と持続可能な社会の実現に貢献することを重要な使命と考えております。今回の参入は、地域の企業や自治体が安定した電力価格のもとで事業を展開できるよう支援し、地域経済の活性化や電力市場の安定化による再生可能エネルギーの普及や脱炭素化の推進にも貢献できるものと考えております。

今後もお客さまの多様なニーズに応え、地域とともに持続可能な未来を築いてまいります。

### 4. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>  
北陸銀行 国際部

TEL : 076-423-7331